

# 完了報告書

記入年月日 2026年 2月 15日  
採択団体名 足柄の歴史再発見クラブ

## ■事業概要

基本情報	
事業名	地域の歴史・食文化を通じた防災への備え学習
事業内容	事業内容①:計画準備 事業内容②:小学校への出前授業 事業内容③:防災公演&講演、防災展示 事業内容④:成果報告書の作成
事業背景	<p>&lt;災害リスク等&gt;</p> <p>開成町には、自然災害として、地震、洪水、噴火(富士山)の3つのリスクが存在している。過去には、富士山の宝永噴火や酒匂川の洪水で大きな被害を受けた歴史があり、被災状況や復興に関する伝承が残っている。</p> <p>「開成町民意識調査 報告書 令和5年5月 開成町」の「非常食等の備蓄等」の設問において、「0～5日分」が 61.9%と災害時の備蓄が少ない家庭が多いことが課題として挙げられる。また、リスクの中でも、突発性の「地震」、急激な豪雨による「洪水」は、行政だけでは対応では限界があるため、特に各地域、各家庭での防災準備・対策が非常に重要である。</p> <p>&lt;狙い&gt;</p> <p>本事業は、地域の歴史や文化を切り口に、子どもから大人までが防災を身近に感じ、学び、語り継ぐことで、地域全体の防災意識とつながりを高めることを目的とする。</p>
コミュニティ 設立の経緯	<p>&lt;防災教育&gt;</p> <p>開成町は近年類を見ないほど高い人口が増加しているが、その結果、地域の歴史それも災害の歴史を知らない保護者を持つ児童生徒も多い。</p> <p>当クラブには教職員やコミュニティスクールの経験者も居り、酒匂川の治水・富士山噴火の歴史を伝える授業を町立小学校で行う下地は整っていた。</p> <p>また近年は初めて開成町立学校に赴任した教員向けの初任者研修を、教育委員会の要請を受けて当クラブが担当していた。</p> <p>こうした経緯を踏まえて、これまでも開成町立小学校 2校への出前授業を実施してきた。</p> <p>&lt;啓発活動&gt;</p> <p>他方では「開成町町民サポートセンター登録団体」として「かいせい町民フェスタ」へも参加し、単なる史実の研究のみならず防災意識の啓発にも貢献してきた。</p> <p>このような活動を通じて開成町役場(教育委員会・産業振興課)や町立小学校 2校との防災教育を通じたコミュニティの形成に多くの時間と労力を費やしてきた。</p>


	<p>&lt;その他&gt;</p> <p>出版事業に関しても、単に出版するだけでなく、ローカルメディア各社のパブリシティを通して多くの参加者を迎える出版記念発表会を開催してきた。そのような活動を通じて「大地震数え節」発見の舞台となった古民家の関連スタッフをクラブのメンバーに迎えるなど、関係団体との連携強化も意識してきた。</p>
<p>本事業に関する過去の取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立小学校への出前授業はここ設立以来、ほぼ連続して実施している。</li> <li>・開成町立学校初任者研修は夏休み期間を利用して開成町の小・中学校に初めて赴任した教員を対象に座学とフィールドワークの構成で実施してきた。</li> <li>・書籍に関しては「富士山と酒匂川」(2007年刊)、「新編富士山と酒匂川」(2019年刊)、「みんなで学ぶ 富士山と酒匂川」(英語・中国語入りサマリー版 2021年刊)、「関東大震災のあとをめぐる」(2024年刊)、「増訂版 富士山と酒匂川」(2025年刊)と発行してきた。これらの書籍の執筆・編集にあたっては、小学校4年生が理解できる文章を心掛けてきた。</li> </ul> <p>2024年秋にJAICAの依頼で実施したコソボ・モンテネグロ・アルバニア・ボスニアヘルツェゴビナのバルカン4か国の治山治水技術者への酒匂川治水の研修には、英語訳もついた「みんなで学ぼう」が大変役に立った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他にも「ぼうさいこくたい 2023」への参加やシンポジウムの開催を通して「みんなで学ぼう」をモットーに今後の防災のあり方、災害に強いまちづくりなどを啓発してきた。</li> </ul>
<p>事業体制</p>	<p>・足柄の歴史再発見クラブ:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業内容①:計画・準備 2名</li> <li>事業内容②:小学校への出前授業 5名</li> <li>事業内容③:防災公演、防災展示 9名</li> <li>事業内容④:成果報告書の作成 3名</li> </ul>
<p>全体スケジュール</p>	<p>&lt;9月~10月中旬&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場となる瀬戸屋敷との打ち合わせ</li> <li>・出演者との交渉・スケジュールリング</li> <li>・事前の資料の確認・提出書類作成</li> </ul> <p>&lt;11月下旬~12月下旬&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Teamsno登録/月次書類作成報告</li> <li>・開成南小学校への出前授業</li> <li>・開成小学校への出前授業</li> <li>・チラシ作成及びそのための打ち合わせ</li> <li>・ポスティング委託</li> <li>・ポスター作製</li> </ul>
<p>事業目標・事業成果</p>	

<p>事業目標全般 (教育提供者側)</p>	<p>■防災教育の提供者:地域の歴史や文化を切り口に、子どもから大人までが防災を身近に感じ、学び、語り継ぐことで、地域全体の防災意識の高まりと地域連携の強化をはかる。 また当クラブが主体となって、収集してきた富士山噴火と酒匂川洪水に関する展示を行い歴史研究の具体の成果を公開し、その重要性を訴える。</p>
<p>事業成果全般 (教育提供者)</p>	<p>・20年近く継続している事業ではあるが、内閣府のモデル事業として取り上げられ、教育委員会や学校に対するプレゼンスが一層高まった。 ・事業②小学校への出前授業:座学と野外授業の間に 1 週間程度あることから児童が家庭でしっかり話をしてきたことがうかがえた。</p>
<p>事業目標全般 (参加者側)</p>	<p>■参加者 ①町立小学校の生徒:先人の治水の知恵とそれが現在にも生きていることを学び、家庭に戻って学んだことを家族で話すことで経験を共有する。 ②講演&amp;展示の聴衆・見学者:富士山噴火と酒匂川洪水に関する展示を通して歴史研究の具体の成果と、その重要性を理解する。 琵琶語りにおいては、舞台暗転、太鼓の大音量等の組み合わせ等の演出により、過酷な被災状況の疑似体験を提供し、その体験を印象深く長く記憶にとどめることで、防災意識と防災知識の啓発を行う。</p>
<p>事業成果全般 (参加者側)</p>	<p>出前授業に参加した児童: ・保護者も知らない地域の歴史を現場で学ぶことで、地域と防災への興味が高まる。 ・開成町に存在する自然災害リスクの一つである酒匂川の氾濫について理解し、家庭内で共有することで防災意識が高まる。</p>
<p>展開できる 知見やノウハウ</p>	<p>20年間実施しており、どの部分が特段のノウハウとして開示すべきものか判断しかねる部分がある。 また、主要メンバーが教員であり、出前授業でも通常の生活の一部と同じであるので、ここ項に関しては、学校・教育委員会からフィードバックをいただき、完了報告に詳細を記載することとする。</p>
<p>コミュニティ防災教育の重要な観点</p>	<p>■開成町は、人口増加が続いており、児童の保護者の中には相当数当町外で生まれ育った人もいる。そうした保護者に地域の災害と防災の歴史を児童を通じて知ってもらうことは、防災意識を高めこの地域に合った準備をするのに役に立つ。出前授業の中でも必ず今日学んだことを、帰宅したら家族と話し合うように伝えている。</p>
<p>残課題等</p>	<p>・酒匂川流域の開成町以外の自治体の小学校でも実施したい。 ・小学校だけではなく、流域の中学校・高等学校でも実施したい。 ・座学の授業者が固定化している。他の会員も行えるようにしたい。 ・座学と現地授業だけではなく、児童の発表が行える工夫をしていきたい。 ・若手の教員に地域の歴史を知ってもらう機会を設けたい。(従来、開成町においては教育委員会主導の主任者研修としてで行ったきたが、今年度は初任者研修の内容が ICT 関連となったため実施できなかった。)</p>

## ■事業内容

事業内容① 計画準備	
事業内容①目標 (提供者側)	事業内容①:計画準備 ・具体的計画、参画するスタッフ等を確定する。 ・予算を算出・確定する。
事業内容①目標 (参加者側)	参加者側は無し
事業内容① 実施内容 A (実施日:9/27)	<p>■具体的な取り組み内容 事業①準備計画: ・月例会の中で開成町立小学校に対する出前授業について検討した。</p> <p>■成果(提供者) 事業内容①の成果や結果を文章ベースで記載 ※提供者に対しての成果であるか、参加者に対しての成果であるかわかるように記載すること</p>
事業内容① 実施内容 B (実施日:10/27)	<p>■具体的な取り組み内容 事業①の出前授業の日程を作成し、クラブメンバーにシェア。</p> <p>■成果(提供者) 当日参加可能なメンバーの把握と役割分担の決定</p>
事業内容① 実施内容 C (実施日:11/6)	<p>■具体的な取り組み内容 事務担当の移管</p> <p>■成果(提供者) Teams への対応が可能となった</p>
事業内容①を実施する中で発生した課題や失敗点	<p>■発生した課題や失敗点 ①会場とする「あしがり郷瀬戸屋敷」との共同事業とすべく進めていたが、諸事情により瀬戸屋敷が共催から離脱となった。 ②この時点で気が付いていなかったが、小学校に渡す書籍が、この時点の想定と内閣府側の通常の補助金支払いスキームに齟齬があることが分かった。 ③マネジメント団体を通すと、演者の出演料が高額であった。</p> <p>■乗り越えた方法 ①当クラブ内だけで運営する体制を構築する。(瀬戸屋敷は使用会場として引き続き協力) ②オンラインミーティングで解決への提案をいただいた。 ③演者と直に交渉した。</p>
事業内容①を実施する上で工夫した点	<p>計画準備時点では、時間的にも特筆するような工夫の余地はなし。 これまでも出前授業を実施してきたので、その部分は改めて構築の必要はなし。 また琵琶語りのイベントを実施した経験のある団体に協力を頂くことができた。</p>

<p>事業内容① 残課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画準備なので中間報告時点での残タスクはなし</li> <li>・琵琶語りの演者1名が個人の事情で当日参加不可となったが、急遽代わりの演者を手配できた。</li> <li>・演者の変更に伴い、チラシの歓声がやや遅れたため、町広報等の同時配布に間に合わず、別途以来となったことでやや配布件数が少なくなった。</li> </ul>	
<p>事業内容② 開成南小学校・開成小学校への出前授業</p>		
<p>事業内容②目標 (提供者側)</p>	<p>■防災教育の提供者:足柄の歴史再発見クラブ 地域の歴史、特に災害の歴史とと減災の知恵を座学で学び、野外学習で現地を乙津れることで、防災を身近に感じ、学び、家庭に戻って語ることで、家庭内の防災意識を高める。</p>	
<p>事業内容②目標 (参加者側)</p>	<p>■防災教育の参加者:町立小学校の生徒 先人の治水の知恵とそれが現在にも生きていることを学び、家庭に戻って学んだことを家族で話すことで経験を共有する。</p>	
<p>事業内容② 開成南小への出前授業(座学) 実施日:11月17日</p>	<p>■開成南小学校への出前授業 開成南小学校の4年生へ4クラスへの出前授業で富士山の噴火や酒匂川の氾濫の歴史について学ぶ。</p>	
<p>事業内容② 実施内容開成南小学校への出前授業(野外学習) 実施日:11月21日</p>	<p>■校外学習 事業②の概要:開成南小学校4年生4クラスが酒匂川土手に集合し、九十間土手、六地藏、治水碑などを実際に見ながら説明する。</p> <p>■成果(提供者 or 参加者) 事業内容②の成果や結果を文章ベースで記載 ※提供者に対しての成果であるか、参加者に対しての成果であるかわかるように記載すること</p>	
<p>事業内容② 開成小への出前授業(座学) 実施日:12月1日</p>	<p>■開成小学校への出前授業 開成南小学校の4年生2クラスへの出前授業で富士山の噴火や酒匂川の氾濫の歴史について学ぶ。</p>	
<p>事業内容② 実施内容開成南小学校への出前授業(野外学習) 実施日:12月8日</p>	<p>■校外学習 事業②の概要:開成小学校4年生2クラスが酒匂川土手に集合し、九十間土手、六地藏、治水碑などを実際に見ながら説明する。</p> <p>■成果(提供者 or 参加者) 事業内容②の成果や結果を文章ベースで記載 ※提供者に対しての成果であるか、参加者に対しての成果であるかわかるように記載すること</p>	

<p>事業内容②を実施する中で発生した課題や失敗点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前授業は 20 年間実施して改善を重ねてきたもので、特段の課題や失敗はない。</li> <li>・タイムスケジュールも 60 分で誤差 3 分程度である。</li> <li>・敢えて言えば、(本事業には含まれないが)例年実施している初任者研修(当町に初めて赴任する教員向けの酒匂川・防災に関する研修)を実施できなかったことで、事前の学校の授業での充実度が例年より低い可能性が懸念された。</li> </ul>
<p>事業内容②を実施する上で工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一方的な質問ではなく、質問を交え考えさせながらできるだけ児童の発言機会を増やす。</li> <li>・それぞれの場所で、適材適所のスタッフにレクチャーを担当させる。</li> </ul>
<p>事業内容② 残課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酒匂川流域の開成町以外の自治体の小学校でも実施したい。</li> <li>・小学校だけではなく、流域の中学校・高等学校でも実施したい。</li> <li>・座学の授業者が固定化している。他の会員も行えるようにしたい。</li> <li>・座学と現地授業だけではなく、児童の発表が行える工夫をしていきたい。</li> <li>・若手の教員に地域の歴史を知ってもらう機会を設けたい。(従来、開成町においては教育委員会主導の主任者研修としてで行ってきたが、今年度は初任者研修の内容が ICT 関連となったため実施できなかった。)</li> </ul>
<p>事業内容③ 防災公演&amp;講演、防災展示</p>	
<p>事業内容③目標 (提供者側)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東大震災、富士山の噴火等の災害時の様子を琵琶語り・太鼓のほか照明も使った演出でインパクトを与え、災害のスケールまで感じられるようにする。</li> <li>・上記の未体験のインパクトを家族・友人に伝え、語り合うことで防災意識の広がりを醸成する。</li> <li>・パネルで当クラブ活動内容とその歴史を伝える。</li> </ul>
<p>事業内容③目標 (参加者側)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の大地震や富士山の噴火に関する史実を、琵琶語りという芸術作品として鑑賞することで深く記憶にとどめる。また通常体験しえない琵琶+太鼓の演出も含めて家庭や地域に持ち帰って話をする事で防災意識を喚起する。</li> <li>・数字や画像として残っている「災害の記録」だけでなく、被災した人々が口伝で伝え紡いできた災害時のリアルな暮らしの様子なども理解する。</li> <li>・パネル展示では、足柄の歴史再発見クラブの活動を知ると共に、地域にこのような歴史の遺産・研究対象があることを再認識し、日本人に不足しがちな「歴史から学ぶ」ことの大切さに気付く。</li> </ul>
<p>事業内容③ 開場下見・打ち合わせ (実施日:12月27日)</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>■具体的な取り組み内容</p> <p>瀬戸屋敷にて下見と打ち合わせを行った。 参加者: 櫻井亜木子・山下純夫</p> <p>琵琶語りの会場となる瀬戸屋敷の蔵の場当たりなどを行い、演目ごとの演者の位置、照明の具合を確認。また、暖房、音響、観客の椅子の配置についても細かく確認した。</p> <p>■成果</p> <p>提供者: 会場の配置、タイムスケジュールが確認してきた。また演者に関しては場にふさわしい演出や衣装、今回書下ろしとなる曲のイメージを膨らませることができた。</p> </div> <div style="flex: 1;">  </div> </div>

<p>事業内容③ パネル製作と進行確認 (実施日:1月12日)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 公民館を借り切り A1サイズのパネル 10 枚を作製終了後にイベント当日の流れや担当について確認</p> <p>■成果(提供者) 大変きれいなパネルが完成した。 12月27日の打ち合わせ内容の共有。 その他この時点で決定すべきこと、現状不明確な点は何かなどを確認することができた。</p>	
<p>事業内容③ 月例会 (実施日:1月17日)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 1月31日のスケジュール、物品、各人の担当などの最終確認。</p> <p>■成果(提供者) 12日に不明確だったところの確認。 琵琶語りの舞台となる蔵担当と、母屋担当の振り分けなどが明確になった。</p>	<p>※別添:当日進行表参照</p>
<p>事業内容③ 琵琶 de 防災 in 瀬戸屋敷 琵琶語り (実施日:1月31日)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 8:00 : 蔵担当集合、楽器の搬入開始 9:00 : 全体ブリーフィング 10:00: 開場・客入れ 11:00: JCOM 取材対応 12:00: 第1部客入れ(満員御礼・立ち見を可とした) 12:30: 第1部開演 13:20: 第1部終了 14:30: 第2部客入れ(満席) 15:00: 第2部開演 16:30: 第2部終了/撤収開始</p> <p>■成果 提供者:初の試みながら遅滞なく進行し、急な衆院選で告知が十分でない中、第1部は超満員、第2部も満席とすることができ、手応えを感じた。また「数え節の内容は写真だと目を背ける人がいるかもしれない、そうした凄惨な被災の様子を、琵琶語りであれば個々の想像の範囲で感じ取ることができる」という主旨の説明があった。これが当に「琵琶 de 防災 in 瀬戸屋敷」開催の意義であろう。</p> <p>参加者:芸術鑑賞+史実を学ぶことが同時にできた。琵琶法師が物語を伝承するのは日本の伝統的な歴史継承文化を体感できた。この地域に起きた災害時のリアルな様子を知ることができた。</p>	

	<p>太鼓による音と、照明にも配慮した演出は心に残るものとなり、防災に関する話題を周囲と共有する際のいいきっかけとなる。</p>	
<p>事業内容③ 琵琶 de 防災in瀬戸屋敷 パネル展示 (実施日:1月31日)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 パネル展示:酒匂川の治水、関東大震災を主に足柄エリアの災害、対策、復興の歴史をを展示。また当クラブの活動史も1枚に纏めて掲示した。 【パネルのテーマ】 ①酒匂川は人の力で整備された ②富士山噴火後、足柄の人々はどうしたのでしょうか ③田中休愚の登場と土手の締め切り ④田中休愚はなぜ禹王をまつたのでしょうか ⑤かすみ堤の役割をかんがえましょう ⑥実際に酒匂川のかすみ堤が役立った事実を調べましょう ⑦静岡県小山町の山を強くする取り組み ⑧関東大震災はじつは神奈川県西部の被害が大きかった ⑨神奈川県西部の関東大震災の被害 ⑩足柄の歴史再発見クラブ 20年の主な活動</p> <p>■成果 提供者:パネルの制作を通してシンプルにわかりやすくこれまでの活動の成果をまとめることができた。 勉強になったという感謝の声が聞けたこと。</p> <p>参加者:関東大震災の被害が、神奈川県西部で大きかったことを初めて知ったなど、近隣の災害史に目を向けることで防災に関する意識が高まった。</p>	 
<p>事業内容③ 琵琶 de 防災in瀬戸屋敷:その他 (実施日:1月31日)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 出版した書籍の展示 パネルのサブとしてこれまで出版してきた書籍の見本誌を展示した。</p> <p>■成果 提供者:新ためて当クラブの活動の歴史とその成果を知ってもらうことができた。 参加者:出前授業を受けた児童の保護者には、教材を手にとってもらうことで、家庭で防災について話すきっかけとなった。</p>	
<p>事業内容③を実施する中で発生した課題や失敗点</p>	<p>■発生した課題や失敗点</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 琵琶語りの会場とした瀬戸屋敷の「蔵」は大変に寒かった。開場前からストーブを焚いたが、開演時には音の関係で消した。そのため一気に気温が下がりスタッフには風邪をひいたものも出た。</li> <li>② 蔵の扉は棧が素通しで風が入り、上記の寒さの原因になるとともに外の音も入ってきてしまう状態であった。子どもが外で遊んでいる声が侵入してきた。</li> <li>③ 太鼓の音がうるさいと、会場にクレームの電話が入った。</li> <li>④ 下見をした時、照明を落とし竹灯籠で富士山から流れる溶岩を表現するつもりだったが、1/30に確認したところ様子が変わってしまっていた。(竹が朽ちてしまったため交換したとのこと)</li> </ol>  <p>12月27日の状態</p>  <p>1月30日の状態</p>	

	<p>■乗り越えた方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 第2部では最終演目の直前までストーブを焚いた。(それでも寒かった)</li> <li>② 特段の対応無し演者には伝えず、再度来たらクラブで謝りに行くことにしていたが、その後はなし。次があれば事前に訪問して、承諾を得る。</li> <li>③ 母屋の玄関から高さのある竹灯籠も持ってきて高さを表現した。</li> </ol>	 <p>※1/31 当日の仕様</p>
<p>事業内容③を実施する上で工夫した点</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 会場を説屋敷の蔵としたこと。演目の時代考証の上からも最適である。またここには富士山噴火の時の火山灰等の剥ぎ取り標本があり、今回の演目との関連性が、この地域の災害について考えることに役立つものである。</li> <li>② 雰囲気盛り上げるために、ポスターの図柄をプリントした法被を作成し、当日着用した。</li> <li>③ 大太鼓は2階に上げて富士山の噴火をイメージさせる太鼓の音が客電0%の中、予期せぬところから鳴り出す演出。</li> </ol>	
<p>事業内容③ 残課題等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 急な選挙や会員個別の事情でスタッフが手薄であった。今後は事前の調整をしっかりと行いたい。</li> <li>② 駐車場の様子・パネル展示会場・琵琶会場、すべてお互いが見通せない場所にあった。今後開催する場合はインカムのレンタルが必要である。</li> <li>③ 会場周辺への根回し/挨拶。太鼓の音が想像の上をいくものであったためにクレームにならないよう</li> <li>④ 近隣住民には事前の配慮を行う必要がある。</li> <li>⑤ 開催時期は今後要検討。今回かなり寒くて体調不良者が出て不思議がないくらいの状況であった。また蔵には冷房設備がないので、夏季・冬季の開催は避けて春秋に実施すべき。</li> <li>⑥ 選挙にかかわるスタッフが多く、事前のSNSの発信が不十分であった。そのため琵琶は超満員であったが、パネル展示は集客が弱かった。また来場者へのアンケート等も準備できなかった。</li> <li>⑦ 防災関連の演目を琵琶語りで行うのは、このエリアでは初ではなく、運営側には見聞きしたのもいたが、来場者にはそのつながりがわからない方もいたようなので、今後はそのつながりの説明を充実させたい。</li> <li>⑧ 上記のようなことも含めて、今後は会場用のプログラムを作成するほうが良い。</li> <li>⑨ 人的資源が圧倒的に不足していた。特にカメラの担当はパネル他全般と、蔵担当の2名体制にする必要があった。</li> </ol>	
<p>事業内容④ 報告書の作成</p>		
<p>事業内容④目標 (提供者側)</p>	<p>■防災教育の提供者(採択団体等)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 事業全体の目標と、その着地点が第三者に伝わるものにする。</li> <li>② 成果・課題・今後取り組むべきことや改善点が明確になる報告書にする。</li> <li>③ 添付資料はできるだけビジュアルライズされたものとし、見て分かるものを目指す。</li> <li>④ 後日発表できる資料となること</li> </ol>	
<p>事業内容④目標 (参加者側)</p>	<p>■防災教育の参加者(報告に関しては特になし)</p>	
<p>事業内容④ 実施内容 A (実施日:2/1 ~2/14)</p>	<p>■具体的な取り組み内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① フォーマットに沿った報告書の作成</li> <li>② スタッフの撮影した画像の提供依頼</li> <li>③ Google フォームを用いたスタッフアンケートの実施</li> <li>④ アンケート纏め、事業全体にかかわる写真の一覧の作成</li> </ol> <p>■成果(提供者)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 次回改善すべき点が共有できる</li> <li>② 当日不参加のメンバーにもイベントの様子が伝わる</li> <li>③ 報告のサマリーをつくることで、次に事業展開するときのプレゼン資料となる</li> </ol>	<p>※別添:スタッフアンケート参照</p>

<p>事業内容④を実施 する中で発生した 課題や失敗点</p>	<p>■発生した課題や失敗点 来場者アンケートを取っておかなかった</p> <p>① パネル展示の画像が圧倒的に少なかった</p> <p>② 記録担当をしっかりとつくり、写真リストはその担当が作成するように分業にすると作業がスムーズで厚みのあるものができたはず</p> <p>③ 月例会をイベント実施から報告書提出までの間に開催すれば、もっと充実した内容の報告書が作れたはずだ(選挙もあって無理であった。)</p> <p>■乗り越えた方法</p> <p>① Google フォームでアンケートをとった</p>
<p>事業内容④を実施 する上で工夫した 点</p>	<p>事業内容④を実施する中で工夫した点 Google フォームのアンケート以外特段のものはない</p>
<p>事業内容④ 残課題等</p>	<p>① 写真記録の不足</p> <p>② アンケート・プログラム等来場者向けのものが欠落したこと。あれば充実度が違ったはず。</p>

【野外授業】

- 野外授業進行表
- 町立小学校 出前授業:写真による説明

【1/31 イベント】

- パネル展示内容(PPT)
- 当日進行表
- スタッフアンケート
- ポスターPDF
- チラシ PDF